KSKR

奈良県自閉症協会 NEWS

きずな

The Kizuna

No.146

2010 Jul. 7

http://www.eonet.ne.jp/~asn/

For Mem.

発行人：
関西障害者定期刊行物協会
編集人：奈良県自閉症協会
支部長＆事務局：河村舟二
〒639-1005
大和郡山市矢田山町84-10
購読料１部　１００円
会員は会費に含まれています。

一九九六年五月一日発行第三種郵便物承認　毎日発行

第21回全国大会 in わかやまを成功させよう！

いよいよ全国大会７月17日（土）18日（日）が迫ってきました。メインテーマは「自立と社会参加　自閉症支援の最前線を探る」で17日の記念講演では脳科学者の茂木健一郎博士による「脳科学からみた自閉症」の講演があります。いつもは奈良県から離れた遠くで行われることの多い全国大会ですが、今回は日帰りでもいけるお隣の和歌山市で行われます。ぜひ奈良県から多くの参加をお願いします。先日和歌山県自閉症協会から参加者集約をしているが、近隣にもかかわらず奈良からの参加申し込みが極端に少ないので再度呼びかけて欲しいとの連絡がありました。今からでも申し込み受け付けてもらえるとのことです。皆様の多くの参加で全国大会 in わかやまを成功させましょう。（河村）

以下自閉症協会のメーリングリストで流された全国大会に向けての準備の様子です。

和歌山の大久保です。　都道府県政令指定都市協会役員各位　お世話になっています。

７月に入り全国大会開催まで２０日足らずとなってまいりました。全国大会準備のため、あわただしくなってまいりました。

さて、昨日、和歌山市議会で「自閉症の理解と啓発に関する意見書」が全会一致で採択されました。会員である２名の和歌山市議が、全国大会を前に和歌山から自閉症に関するアピールを発信する意味で取り組んでいただいた成果であると考えています。

意見書については、当初提案させていただいたものとは若干修正が入っていますが、概ねその趣旨をおくみ取りいただいて採択されています。今後の各地域における活動にお役にたてたらと思いお知らせいたします。また、全国大会につきましても当日参加まで受付をしていますので、ご参加を考えていらっしゃる方は和歌山県自閉症協会もしくは協会本部にお問い合わせお願いします。尚、当日参加につきましてはご希望の分科会に参加できないこともありますのでご了承お願いします。

自閉症の理解と啓発に関する意見書案

近年､国連で世界自閉症啓発デーが採択され、世界の潮流は自閉症に対する支援と理解啓発を促進する動きが活発となってきている。

現在、国レベルでは､「障害者自立支援法」に代わる「障害者総合福祉法（仮称）」に関する議論がされ始めたばかりである。

しかしながら､これを議論する｢障がい者制度改革推進会議｣の中でも、自閉症が他の障害と大きく異なる理由は､「人間関係を形成し、維持すること及び社会の常態を知り、それに慣れにくいことへの支援困難な障害」であることから、発達障害というひとくくりの言葉では自閉症の生活維持や支援の困難さについては理解されていないというのが現実である。

よって、国においては、自閉症児者に対する施策の充実と理解啓発の向上を図り、親と子、地域と行政、関係者が一体となった取り組みを行い、自閉症児者の社会参加と自己実現、自己決定、尊厳の確保を図るよう、下記のとおり強く要望する。

記

１．自閉症児者の生活実態を精査して、その生活維持や支援の困難な状況を具体的に把握すること。

２．国連が４月２日を「世界自閉症啓発デー」と制定したように、自閉症に関する国民の理解を深めるため、さらに積極的な啓発活動を行うこと。

３．自閉症の人たちの実態を正しく理解し、適切な支援を行う人材の育成を図ること。

４．自閉症の人たちの地域生活を現実的に支援できる拠点施設として多機能化した､｢総合援助センター（仮称）｣を整備すること。

５．従来の就労支援方式では対応困難であった就労前及び就労後の支援システムの改善を図り、その際、あ

わせて生活支援を強化すること。
上記、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出する。

平成 22 年 7 月 5 日

衆議院議長　　殿
参議院議長　　殿
内閣総理大臣　殿
総務大臣　　殿
厚生労働大臣　殿
文部科学大臣　殿

〇石井会長からの返信

大久保さんのご努力で、このような各地域における議会で自閉症自者支援に関わる要望書が議決されたことは画期的な事と評価し、今後の新たな運動が始まると思います。一つ残念なことは、多機能型、自閉症総合援助センターに包含されていると読めますが、自閉症の人たちが、家庭以外に安心して生活できる入所施設の整備顔とされていることです。この事は強く主張して欲しいと思います。自閉症の人たちが地域で安心して暮らしていくためにも欠かせないことです。新しい制度のグループホームやケアホームの整備でもよいのですが、どう考えても見通しの立つことではありません。現存の施設改革を強力に行うか、行動障害に対応できるような新たな地域での居場所としてユニット型の自閉症養護施設（高齢者も含めて、）考えるか、いずれにしろ、今困っている人が増えてきています。行く先を考えて運動するために必要な内容です。

石井哲夫

〇千葉の大屋さんからの返信

大久保さんらしい正統派の方法をご教示いただき、ありがとうございます。我々も参考にしていきたいと思います。先の理事会でも申し上げましたが、全国各地で、可能な方法、得意な方法で、働きかけを行うことが必要と思います。会長のご意見に関連しますが、我が家の子どもたちも、知的障害のみならず、行動にも多大な問題点を抱えておりますので、入所施設を含めた住む場所、生活する場所に関して重大な関心を持っております。自閉症協会としては今の日本の福祉を引っ張ろうとしている人たちに、この問題をどのように理解してもらうかについて、知恵が必要と思います。これも先の理事会で申し上げたことですが、「自閉症への合理的配慮」をキーワードとして、先進国とされている国の自閉症施策の調査や、日本の障害者権利擁護推進のリーダーとされる方々との意見交換などが必要なのではないかと思います。

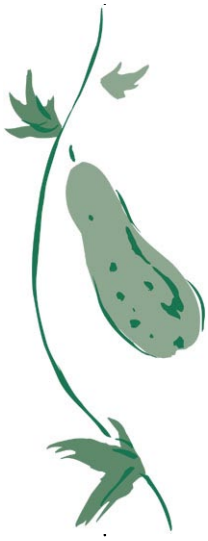
〇　２年後の全国大会は、北海道自閉症協会が開催すると名乗りを上げられたようです。いつかは奈良県でも行えるといいですね。

〇日本自閉症協会の市川宏伸理事が、ＪＤＤネットの代表に選ばれたとのことです。

〇改正障害者自立支援法は廃案

先の通常国会で議員立法で提出され議論されていました改正障害者自立支援法「障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための整備に関する法律案」については、衆議院では可決され参議院に送付され（参）厚生労働委員会では採決され、本会議に上程されることになっておりましたが、ご存知のように鳩山内閣が総辞職したことの影響を受けまして最終的にはこの法律案は廃案になりましたのでご報告いたします。

日本自閉症協会事務局長 大平 薫



６月療育部会の報告

６月２４日（木）田原本障害者福祉センターにて、キャラバン隊公演会と療育部茶話会を行いました。キャラバン隊員や役員、自閉症協会の見学の方を含めると総勢２９名の方々にご参加者していただくことができました。

最初の１時間は、自己紹介を兼ねて、日頃の子供の様子など語り合いました。他のお子さんのお話に共感したり、先輩お母さんのお話に励まされたりして、あっという間に時間が過ぎていきました。そして、後半の１時間は、キャラバン隊の公演を鑑賞し、とても和やかな雰囲気で療育部会を終えることができました。

（公演会・療育部会の感想については、下記のアンケートをご覧ください。）

療育部会のアンケートまとめ

参加人数：２９名

（アンケー回収１４枚）

１．キャラバン隊の公演について

・わかりやすくおもしろかった。見え方、聞こえ方体験ができてよかった。

・体験型の公演なのでわかりやすいと思った。マイクがなかったので、話す人によって聞こえにくかった。

・とてもわかりやすかったです、ありがとうございました。たくさんの人数を相手にする場合は、もう少しゆっくり、何をしているかの説明を増やせばもっとわかりやすいと思います。

・よくわかりました。どちらかというと大人向けの感じだったので、幼児や子供用のものがあってもいいかな…と思います。

・体験も加えて、とてもわかりやすい公演でした。毎日の生活の中で子供への言葉がけが、ついついせかして、イライラさせていた事に気付かされました。私もどんな花が咲かせられるのか、種をまく役割があるのだと…。とてもいい公演でした。ありがとうございました。

・自閉症の子供たちの事がよくわかった。公演で実体験をする事ができて、親や子供たちにも、わかりやすい公演でした。ありがとうございました。小さい子供がおられる方も多いので、聞きたいけど時間がとかあるので、先生や子育てサークルなどに広めていきたいと思います。

・とてもよかったです。最後あたりで字幕を読まれている時に、字幕は「親のつとめです」とあったのですが、「大人のつとめです」と言われていたので、よかったと思います。「大人」の方がいいかと思います。周囲の理解者が少しでも増えるように、私も勉強したい（いろんなお話を聞きたい）と思いました。

・皆様お忙しい中、準備・練習などを経てすばらしい公演をして下さり、ありがとうございました。とても良かったです。気付いた点は①始めの時に、導入の音楽があってもいいかな、と思いました。（脳の歌でもいいと思います）②見える体験のペットボトルのふちにボアの布などをつけると、あたりが柔らかくなると思います（密着しにくくなる？）③公演対象によって台本は違うのでしょうか？（子供向け、大人・保護者向け）中間の部分が小学校低学年には少し難しいかなあ､と思います。

・キャラバン隊、いつか地域の小学校で公演を開催できるようにしたいです。

・１時間でしたがとても短く感じる程、内容が詰まっていました。画像が出るのも理解しやすかったです。

・体験させていただけるのは、理解につながるいい方法だと思います。

・とてもわかりやすく、自分でも気付かされる点がありました。「早く！」「ちゃんとして」など言ってる自分。「何でできないの！」と言ってる自分。自分が言われて嫌な事ですよね…。今日から言葉がけに気をつけていきます｡コイン入れ体験は、こんなに大変だったのかと気がつきました。書きながら見ていたのでレジメがあればいいなと思いました。

・最近「もう小学生なんやから」とうるさくガミガミ言ってしまい、自己嫌悪に陥る毎日でした。今日参加させていただき、子供の気持ちが少しわかりました。毎日こんな思いをしていたのかと…。私のひび割れ、子供のひび割れ、大切にしていっぱい種まきしていきます。ありがとうございました。

・マイクなしでしたが、皆さんの声もよく聞こえました。段取りも良かったと思います。

・実際に体験すると自閉症の方の苦労が良くわかりました。ついつい子供に早くして、とせかすことをしていた自分を反省し今後に活かしたいです。地域の小学校などで公演していただきたいです。いろいろな人に理解してほしいです。

２．本日の療育部会の感想と今後の療育部に希望される活動について

・先輩ママさんのお話が聞けてすごく良かったです。

・いろいろな方のお話が聞けて大変参考になりました。ありがとうございました。

・今日ぐらい人が多く参加して下さるといろいろな事が発展的にできる気がしました。小さな子供さんの会員さんが参加しやすい取り組みをたくさん考えてください。

・できるだけ参加させていただきた

いです。
・参加できてよかったです。
・平日出席したいのですが、なかなか…です。「きずな」熟読しています。
・ポニーの里は兄弟参加できるようにしていただきたいです。（家族でないとなかなか出かけられないので）
・茶話会という形が良かったです。時間も適当（午前中のみ）で来やすかったです。ハンディを持たない、協力をしてもらいたい人に説明するのに、今日のキャラバン隊のお話は参考になりました。
・また来たいと思います。勉強会にも参加しています。
・　　自閉症協会と聞くと一般の方には「関係ないや」って感じに取られがちだと思いますが、どうかいろいろな方に理解を深めてもらえる様にいろいろな所での公演をお願いします。娘が通う小学校でもお会いできたらとてもうれしいなあ…。がんばってください。
・お母さんどうしの悩みを話し合って、不安な気持ちを一人でかかえ込まないように、そんな会があったらと思います。具体的にこうすれば解決できたよ！などのアドバイスを下さる場など。

♪6 月ケンケンパ例会リポート

日時：6/21（月）大和郡山市福祉会館　2F 会議室
参加者：6 名

今年度の初例会です。4 月に新入学、進級もありでお母さん方の自己紹介かたがた、抱えておられる悩みも多くありました。
小学 1 年生。支援級に入級ですが、通常のクラスにも授業を受けておられます。
やはり、休憩時間や給食やそうじの時間はクラスになかなかとけこめず自分でクールダウンをしにいく場所へ行くのですが、まだ 1 年生の中ではクラスメートや先生の理解も進まずトラブルが多いという悩みでした。

「1 年生」というのはどんな感じでしょう？
まだまだ幼稚園時代の幼さもあり、ランドセルが歩いているように見える足取りで学校へ通っている子供時代です。自分のつくえがあってそこに教科書をいれて朝の用意をすませ、いすに座って先生の話を聞き、おともだちと一緒に学び、4 時限、5 時限と学校で過ごすことは一日の半分くらいを学校にいることになります。親にとっては少しずつひとり立ちしていってくれるうれしさと大丈夫かな？という思いとで送り出しています。まずは学校に慣れる、なじむということが彼らにとって一番大切なことだと思います。不安を抱えながら通学してくることも多いでしょう。けれど毎日、笑顔で！今日もがんばって来たね！と迎えてくださることがこの「ちいさな小学生」には必要なことではないでしょうか。学校の中に消えていく小さな姿に強くそう感じました。

ケンケンパもたちあがって 4 年になりますが、グループワークや就学、就労などのお話会などにも広げてまいりました。先の見通しを立てるということも大切であると共に、今、いる彼らのステージ（乳幼児、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、就労時など）に取り巻く人たちや環境との折り合いなどもこれからどんどん探ってまいりたいと思っております。また例会にお越しくださったり、メールしていただいたり、保護者や教育関係の方々からのたくさんのお話をお寄せくださると幸いです。
メールアドレス：info@kenkenpa.org

♪ ちょっと療育部さんへ

ケンケンパ世話人Ｉは、初めて療育部さんの茶話会に参加させていただきました。
大勢の方が起こしになられており途中出席になりましたが、出席されたお母さま方の自己紹介に笑わされたり、考えさせられたりとても有意義な時間でした。また、キャラバン隊の講演もあり、その中には寸劇あり、ゲームありの盛りだくさんな講演でこどものことを知っているつもりの私でありましたが、改めて理解！とてもわかりやすく、またぐっと胸を打たれました。これを見ない手はない！ぜひにいろんなところで講演していただけるように応援したいと思っています。療育部の皆さま、本当にありがとうございました。

事務局より

テンプル・グランディンの講演がインターネットで字幕付でみられます。テンプル・グランディン：　世界はあらゆる頭脳を必要としている　http://www.ted.com/talks/lang/jpn/temple_grandin_the_world_needs_all_kinds_of_minds.html

テンプル・グランディン（Temple Grandin, 1947 年 8 月 29 日 -）は、ボストン生まれでアメリカ合衆国の動物学者。非虐待的な家畜施設の設計者である。コロラド州立大学准教授。自閉症を抱えながら社会的な成功を収めた人物として知られている。自閉症がまだ社会に認知されていない時代に育ったグランディンは、2 歳の時、脳に障害があると診断され特別な保育施設に預けられました。その後しばらくして、自閉症とみなされるようになり、成人してからアスペルガー症候群と診断されました。グランディン本人によると小学校卒業後、良い指導者に恵まれたことで、1960 年代にはニューハンプシャー州リンジにある寄宿学校、ハンプシャー・カントリー・スクールへ入り、1970 年にフランクリン・ピアース・カレッジで心理学学士、1975 年にアリゾナ州立大学で動物学修士、1989 年にイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校にて動物学博士を取得しました。

6 月 20 日 NPO やまびこ主催の「中国の先生方と障がい児教育についての交流会」が開かれ奈良県自閉症協会から掘と河村が参加しました。場所は天理市立中央公民館 2 階中会議室でした。中国で障がい児教育に携わっておられる専門家ならびに保護者との交流会が行われ、今回は中国、常州市で自閉症児の教育施設「天愛」の方々が中心になって日本に研修に来られました。メンバーは　園長先生・理事・保護管（8 人）・大連大学医学部小児科医（東京学芸大学大学院で太田昌孝教授に師事し自閉症に精通）・自閉症の事を積極的に勉強している通訳のかた

の計 11 人の方々です。他に第三美谷学園・日中美谷福祉協会理事長井上先生も来られ互いの取り組みを出し合って草の根の交流を行いました。この方々は 6 月 17 日に日本に来られ、美谷学園等との研修を行い 6 月 20 日に天理に来られ 21 日には「あおはに」、東大寺見学。夕方金閣寺見学。東京にて宿泊し、23 日に上海か色常州市に帰られました。奈良県自閉症協会の皆さん、いつか、ぜひ中国に来てください交流を続けましょうとのことでした。

NPO 法人チットチャット（大阪）さんから「発達障がい児の運動サポート～活かせるからだを目指して～」DVD 制作記念講演会のお知らせをいただきました。

◆制作に関係した３人がそれぞれの立場で講演＆トークセッションを行います。

〇感覚統合療法の立場から　太田篤志（姫路獨協大学）

〇障がい児の保護者の立場から　橋本靖子（もりしぃスポーツクラブ代表）

〇障がい児のスポーツ指導の立場から　森嶋勉（NPO 法人チットチャット理事長）

■日時：８月１日（日）１３：００－１６：００

■会場：ユトリート東大阪　ホール（東大阪市勤労市民センター）

近鉄奈良線「八戸ノ里」駅下車南へ徒歩７分

■参加費：無料

■定員：２５０名（先着順）

■申込：本メールにお名前、ご連絡先住所、お電話番号、参加人数をお知らせください。

またチットチャットの HP からもお申込できます。http://www.npo-chitchat.com/support2.html

本講演テーマに関心のある方ならどなたでも参加可能です。ふるってご参加ください。

アンケートの協力お願い

ケンケンパをとおして次の依頼がありました。多くの方のご協力をお願いします。

担当者　様

梅雨明けの待たれる今日この頃，いかがお過ごしでしょうか。突然このようなお願いをしますことをお許し下さい。私は神戸大学大学院博士課程後期課程に在　籍しております山根隆宏と申します。

私はこれまで博士論文作成を目的とし，発達障害のお子さまをお持ちのご家族　に対する心理的支援について調査をおこなってきました。今回，その調査の一環　として LD や高機能広汎性発達障害などの親の会に参加されているお母さまを対象　としたアンケート調査を行っております。

アンケート調査の内容は，日常の生活において親御さまが，お子さまを育てる中でどのようなことに負担感やストレスをお感じであるか，そしてそれにどのように対処されているかについてお聞きするものです。また，日常で困ることや負担に感じられることに対して，お母さま方がどのように対処されることが有効であるかを調べるものでもあります。

つきましては，ケンケンパの会員の皆様にアンケート調査のご協力を

お願いできませんでしょうか。ご無理なお願いとは存じますが，会員の皆様方に貴重なご意見を頂ければ非常に幸いです。

アンケート調査は無記名で行いますし，結果を統計的に処理しますので，個人が特定されたり，個人の回答のみを問題にしたり，公表することはございません。また，調査にご協力していただける際は，当然のことではありますが調査結果の報告をさせて頂こうと思っております。

親御さまやお子さま，または社会に対して，有益となるような調査結果を還元できるように努める所存です。お忙しいところ大変恐縮ではございますが，ご検討のほど何卒よろしくお願いいたします。

2010 年 6 月 27 日

****

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科
博士課程後期課程 心身発達専攻
山 根 隆 宏（Yamane Takahiro）
E-mail：061d805d@stu.kobe-u.ac.jp

****

日本自閉症協会から本年度のペアレントメンター養成事業の案内がありました。

各位　平成 22 年度ペアレントメンター事業について

拝啓　初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。今年度のペアレントメンター事業につきまして、養成講座【新ベーシックコース】および【フォローアップコース】の開催につきましてお知らせいたします。

今年度は日本財団の助成を受け、ペアレントメンター養成講座【新ベーシックコース】を 3 カ所で、2008 年度までのベーシックコース修了者を対象としたフォローアップコースを 1 カ所で開催する予定でおります。

昨年度はこれまでの事業のふりかえりと今後の事業展開について検討いたしました。今年度の企画委員会におきまして、ペアレントメンターが組織の中に位置づけられ、スーパーバイズや相談者とペアレントメンターとの仲介、活動中のフォローが存在する中で活動することで、様々な問題に直面した際にペアレントメンター自身もケアされ、またそのような問題を未然に防ぐことにつながるため、「発達障害者支援センターの協力」を得て事業を展開していくこととなりました。それを踏まえ、6 月 4 日（金）に広島市で行われました「22 年度発達障害者支援センター全国連絡協議会」でペアレントメンターの事業説明および養成講座へのインストラクターとしての参加などのご協力のお願いをいたしました。

発達障害者支援センターとしても、ペアレントメンターと協力して活動できないか検討されているようです。

そこで、今年度のペアレントメンター養成講座【新ベーシックコース】は発達障害者支援センターの積極的な協力のお申出があった地域での開催を予定したいと考えております。

以上の点にご理解いただき、開催を希望される場合は、発達障害者支援センターにご協力をお願いしていただき、発達障害者支援センターよりご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

また、2008 年度までのベーシックコース修了者を対象にしたフォローアップコースは東京にて 2010 年 11 月 6・7 日（土・日）の 2 日間のプログラムでの開催を予定しております。場所やプログラムやお申し込みなどの詳細につきましては 8 月上旬を目途に改めてご連絡させていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。　　敬具

ペアレントメンター事業　　担当理事　江口　寧子

中国の先生方と障がい児教育交流会　ご案内

NPO やまびこ主催で 7 月 30 日午後 7 時から 9 時天理市ボランティアセンターで行われます。奈良県の特別支援教育関係者の皆様ぜひ参加よろしくお願いします。

問い合わせは　やまびこ事務局　０７４３－６７－０９０６へ

☆国治研（国際治療教育研究所）より国内セミナー海外視察研修の案内チラシ事務局に届いています。〇ノースカロライナ TEACCH 研修　梅永雄二先生同行　8 月３日から 10 日間〇米国ボストン発達障害研修　竹田契一先生同行 8 月 9 日から 10 日間　など

特定非営利活動法人　　奈良県自閉症協会　療育部主催

動作法実践のご案内

「保護者のためのストレスマネジメント」

講師　　中野　弘治氏

動作法を学び、ストレスでガチガチになった体をほぐしてみませんか？
子どもとのコミュニケーションに役立ててみてください。

日時　　平成２２年　１０月１日（金）　９：３０受付
１０：００～１２：００　　午前の部
１２：００～１２：４５　　昼食（昼食は各自用意ください。）
１２：４５～１４：４５　　午後の部
どちらかの部だけの参加も OK です

場所　　奈良市総合福祉センター　大会議室
奈良市　〒６３１－０８０１　　奈良市左京５丁目３番地の１
TEL（０７４２）７１－０７７０

アクセス　　近鉄高の原駅下車→高の原駅より奈良交通バス「左京循環内・外回り」乗車
「総合福祉センター」バス停下車すぐ
駐車場はあります。建物前でなく、奥の駐車場を使ってください。

参加費　　自閉症協会会員　無料　　会員外 1000 円

定員　　２５人

申し込み先　　野仲　TEL　090 ― 2352 ― 2613
ken1-hiro8@docomo.ne.jp

参加者の名前・連絡先・自閉症協会会員か非会員をお知らせください。

問い合わせ先　　光野　TEL&FAX（０７４２）７１－４０８８　　nahi-kon@m3.kcn.ne.jp

締め切り　　９月１５日　（希望者が多数の場合、主催者にて選考させていただきますこと、ご了承ください）

発行人：関西障害者定期刊行物協会
住　所：〒５３６－００２３
大阪市城東区東中浜３－５－１６タイガーマンション１Ｆ
編集人：河村　舟二
定　価：１００円

一九九六年五月一日発行第三種郵便物承認　毎日発行